

子ども・思春期の性別違和に対する時

いずみ
泉のぶ お
信 夫

キーワード：性同一性障害，性別違和（性別不合），
小児，性の多様性，専門家チーム

要 旨

2010年頃，数回の受診歴のある中学1年生位の男子が，華やかな女装で来院した。性同一障害の用語は知っていたが不勉強で，「友達から，いじめられないの？」と尋ねた。子どもの心を傷つけており，母親は直ぐ「岡山大学の専門外来に通っています。」と答えた。

性同一障害の用語は，その後，性の自己認識の多様性から，“障害”を使わず，性別違和や性別不合となった。対応の基本は，当人を否定することなく受け入れ，心を傷つけないことである。子どものうちは不安障害，自傷行為，うつ状態，不登校，自死企図に留意し，心の専門医が対応する。思春期で二次性徴抑制療法が必要な場合，骨形成や性機能に影響する可能性も考え小児内分泌専門医が検討し，中国地方では岡山大学のジェンダークリニックに紹介する。

はじめに

まず，自身の経験を述べる。2010年頃，それまで数回，受診していた物静かな中学1年生位の男子が，ある日，華やかな女装で感冒を主訴に来院した。性同一性障害（gender identity disorder）の用語は知っていたが不勉強で，「友達から，いじめを受ける心配はないの？」と尋ねた。母親が直ぐ様「岡山大学の専門外来に通っています。」と答え，男子の心を傷つけたことに気づいた。

私よりずっと多くの患児に対応し，このような生徒に接する機会は少なくなく，勉強済みの方もあろう。また，学生時代に勉強済みの若い医師もあろう。しかし，小児・思春期を診察する医師には同一性障害は未経験で，出会った時の対応に困る方も少なくないと思う。文部科学省は2015年4月に教育委員会等宛に通知を出し¹⁾，2016年4月に教職員向けの対応マニュアルを作成した²⁾。この事は診察室での性の悩みをもつ子どもを増やしているかもしれない³⁾。

対応の基本は，当人を否定することなく受け入れ，心を傷つけない事であり，さらに，専門家チームを紹介する。今少し詳細について記したい。

Nobuo IZUMI

出雲市

連絡先：〒693-0021 島根県出雲市塩冶町909-3

出雲市